

2

ゴールまでの流れが見えるUnit構成

Hop!
の活動

Unitは、Hop! → Step 1 → Step 2 → Jump! の順で見開きごとに進みます。
単元でできるようになることを Hop! 右上の Goal 欄で確認したら、活動を始めましょう。

授業の流れを
そのまま紙面化

Unit 全体は見開きごとで統一し、授業の流れを順に整理して配置しました。紙面でない活動をはさんで補ったり、活動の順番を入れ替えたりしなくても、ゴールに向かって順に学習が進められます。

この Unit の Story の場面や状況を示しています。

Story

見開きページを大きく使ったパノラマのイラストを手掛かりにして、アニメーション映像のストーリーを視聴し、話の内容をつかみます。



Unit 5

My hero is my brother.

Takahashi Tomotaka
a robot creator

Dan Smith
a wheelchair basketball player

Ms. Mutai
a chef

場面・状況

英語のクラスで、ニックたちがあこがれの人について話しているよ。

Story

5人が挙げた人たちは、どんな理由であこがれの人ののかな。

58

Let's sing

Humpty Dumpty

Small Talk

Let's talk about our heroes.

Goal

自分の興味・関心を伝えるため、あこがれの人を紹介することができる。

Hop!

家族や職業、性格などの言い方を知ろう。

Step 1

人の職業などを伝えよう。

Step 2

人の性格などを伝えよう。

Jump!

紹介文を読んだり、書いて発表したりしよう。

Unit 5

Hop!

Katsura Kaishi
a rakugo performer

Osaka Naomi
a tennis player

Let's listen and point.

Picture Dictionaryを見て、聞こえてきたものを指そう。

About You

あなたのあこがれの人はだれかな。その人にあこがれる理由は何かな。

59

英語のリズムや文化に触れられる英語の歌をすべてのUnitに設定。

Small Talkの導入に使える、既習表現を使用したアニメ。1Unitにつき3か所用意。

別冊のPicture Dictionaryへのリンク。Unitに関連する語句を示しています。

Goal

このUnitでできるようになることを示し、文中には「～のために」という学習の目的を明記しました。その下には、各見開きで行うことを端的に記しました。

Unitのゴールが見える

Hop! ページの右上に、Unitのゴールをしっかりと示しました。ゴールからのバックワードデザイン、いわゆる「逆向きの設計」で単元を構成し、「できるようになること」を最初に確認してから学習を始められます。

音声や映像を視聴できるQRコード。

このUnitで重点的に扱う領域をアイコンで表示。これらの重点化領域は、目次でも確認できます。

About You

Unitの話題を自分のことに引きつけて主体的に考えるための問いかけを示しています。

Let's listen and point.

パノラマのイラストや別冊Picture Dictionaryを使い、学習する語句に慣れる活動です。

2

ゴールまでの流れが見えるUnit構成

Stepの活動

Stepは、Step 1とStep 2の2見開きで構成。どちらも流れは同じで、聞く活動から徐々に話す・書く・読む活動へと進めるよう、各コーナーを整理して配置しました。

言語習得の理論に沿った学習の流れ

Stepは、聞く活動から始まり、チャンツで口を慣らし、話す活動や書く活動に進みます。豊かなインプットから少しずつアウトプットに進む、言語習得の理論に沿った学習の流れです。

Let's watch.

Hop! のStory で見たアニメーションの一場面を見て、Stepで学ぶ主な表現に気づきます。

Let's listen.

英語を聞いて質問に答える活動です。

Let's chant.

オリジナルチャンツのリズムに乗って英語の表現を声に出し、Unitの語句や表現に慣れる活動です。

Stepで行うこと

Step 1

人の職業などを伝えよう。

Small Talk

She is a chef.

Unit 5

Step 2

人の性格などを伝えよう。

Small Talk

My Favorite Character

Unit 5

Let's watch.

会話を聞いて、結衣のあこがれの人について表に書こう。

だれ

性格など

Let's listen.

ニックたちのあこがれの人は、もっといるみたいだよ。それぞれどんな性格の人が、線で結ぼう。

1 Tina

2 John

3 Rui

4 Jun

kind

active

friendly

brave

smart

Let's chant.

She is active.

英語の発音の際のワンポイントを表示。

Let's try.

よく知られた人の中からあこがれの人を選んで、人がらやできることなど、すてきなところを紹介し合おう。

He is a singer.

He is very kind.

He can sing well.

Plus One

紹介した人の似顔絵をかいて、クイズを出そう。聞く人はそれがだれかを当てよう。

Who is this?

He is my hero.

Really?

Response

Let's write and read.

紹介したあこがれの人の名前と、その人の性格などを書いてから、声に出して読もう。

Name: _____

_____ is _____

文の終わりにはピリオド(.)を付けよう。

Picture Dictionary p.12-13 h i j p.106 63

Stepごとに表現を分けて提示

このUnitでは、Step 1で「人の職業などを伝える」表現を、Step 2で「人の性格などを伝える」表現を学習します。このようにStepごとに主要な学習表現に触れ、ゴールに向かって着実に学習が進むようにしました。

学習する主な表現 Step 1

人の職業などを伝える表現

He is my brother.
He is a wheelchair basketball player.

学習する主な表現 Step 2

人の性格などを伝える表現

She is very strong.
She is famous.
She is shy.

Small Talkの導入に使える、既習表現を使用したミニアニメ。

Let's try.

学習する語句や表現を使い、お互いの考えや気持ちを伝え合います。予想してから質問したり、自分で答えを考えたりできる、話す目的や必然性のある活動です。

Plus One

Let's try.の話題を別の相手に伝えたり、詳しく尋ねたりする活動です。既習表現を加えて伝え合うことで、思考力・判断力・表現力を育みます。

あいづちやほめ言葉などをResponseとして各Unitで紹介。

Let's write and read.

学習した語句や表現をなぞったり書き写したりした後、声に出す活動です。5年の冒頭から6年の終盤まで設定しており、最後には4線に文が書けるよう、段階的に示しています。

楽しみながらアルファベットの音と文字の関係に気づけるコーナーです。

2

ゴールまでの流れが見えるUnit構成

Jump!
の活動

慣れ親しんできた語句や表現を確認する活動や、世界の映像を見て考える活動をふまえて、単元のゴール活動に取り組みます。

Jump!で行うこと

Unitの重点化領域に取り組むページ

Jump! では、Unit のゴールとして 5 領域のアイコンで示している重点化領域の活動に取り組みます。最後に「ふりかえろう」で Unit 全体の学習の達成度を確認します。

重点化領域の活動①

ここまで慣れ親しんだ語句や表現を
確かめる、評価の対象となる活動を行
います。このUnit 5では読む活動です。

Let's watch and think.

世界の映像を見て、異文化への理解を深めながら、ゴール活動のヒントにします。

「世界の友達」ページで登場している海外の子どもたちです。一人一人の考えや意見を知ること、より身近に世界の文化を感じることができます。



Phrase Hunt

既習表現を思い出すきっかけとなる画面が、QR コードから見られます。クラスで見て、ゴールで使えるような表現を出し合います。

活動のモデル動画



QRコードから、ゴール活動の参考となるモデル動画を見ることができます。



重点化領域の活動②

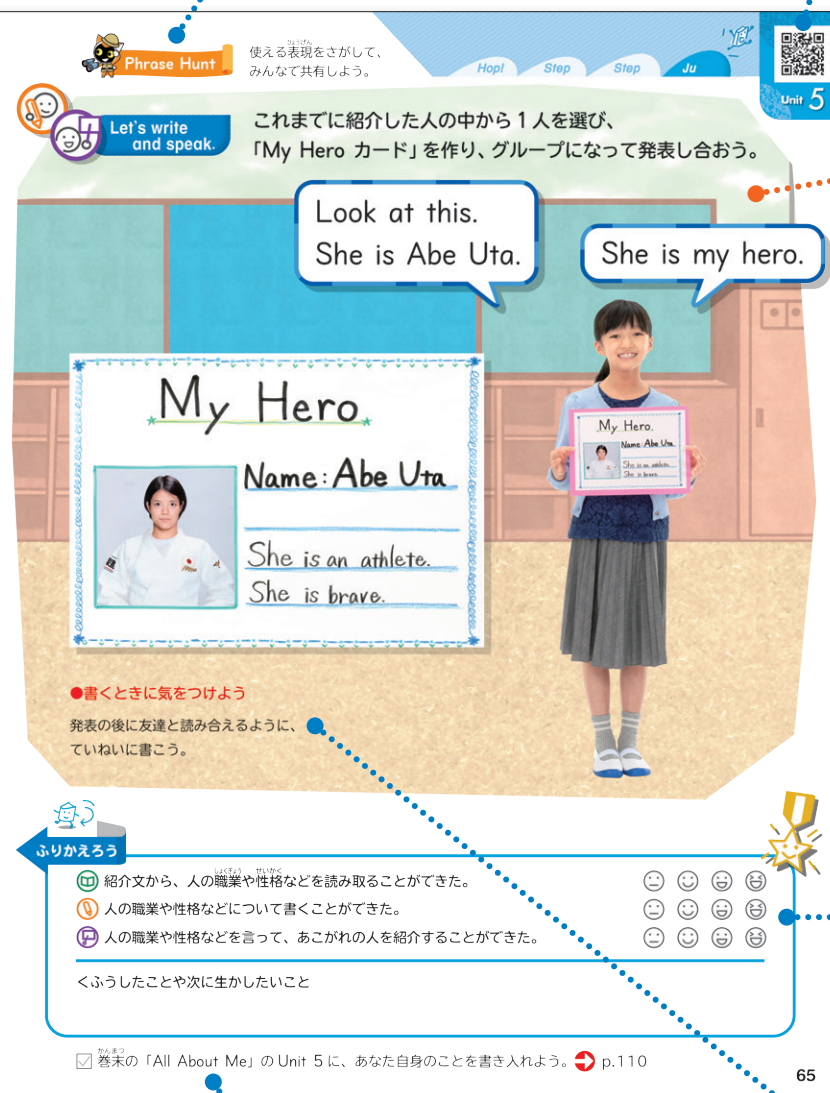
Step 1, 2 で学んだ語句や表現を活用したり、既習表現を加えたりして、お互いの考えや気持ちを伝え合います。この Unit では「書く」「話す（発表）」活動です。

Unitの学習を振り返る

Unitの最後には、「ふりかえろう」を設け、重点化領域ごとにできるようになったことを4段階で確認します。自分なりの工夫を自由に記入して、次の学習に生かせるようにしました。

ふりかえろう

Unit で重点化する領域の活動ごとに整理。下段には、自分なりに工夫したことや、学習の進め方を調整した点などを記入できます。



Unit で学んだことを All About Me に
書き込みます。

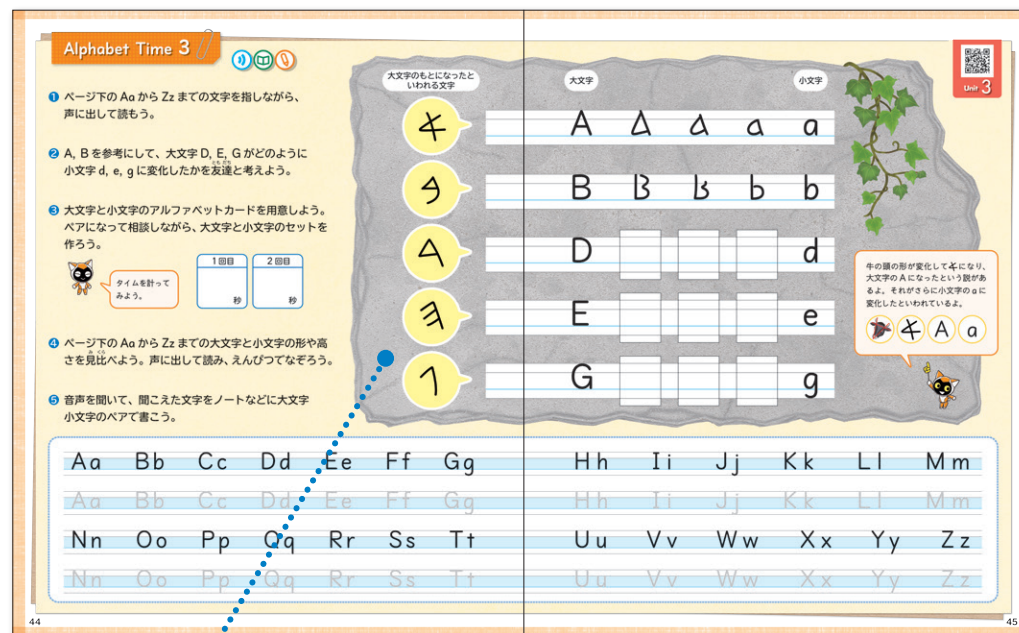
活動の際に気をつけたいことを
「～に気をつけよう」の形で示しました。

文字の学習は、スモールステップで丁寧に

アルファベットの読み書きの学習は、児童の学ぶ意欲を大切にしながら、
中学校の学習にスムーズに移行できるよう、段階を追って丁寧に提示しました。

Alphabet Time

Unit の活動と合わせて行うページです。5 年前半の Alphabet Time 1 ～ 3 では、①大文字
②小文字 ③大文字・小文字の 3 段階で、アルファベットの名前と形に慣れていきます。
Alphabet Time 4 以降は巻末にまとめ、系統的な文字の学習ができるようにしました。



大文字から小文字への変化を考える活動

Alphabet Time 3 には、長い歴史の中で大文字がどのように小文字に変化していったかを自由に考え、話し合う活動を設定。自ら考えるので、大文字と小文字のペアが頭の中でしっかりと結びつきます。

「読めた！書けた！」の学ぶ喜びと楽しさを

5年生から始まる文字指導において、音声指導では見えてこない「個人差」が現れることがあります。本書では、4線に書かせる前段階として、カードを置く活動からはじめるなど、丁寧に学習を積み上げていく作りです。理論に基づいた系統的な読み書きの活動を通して、一人一人に「読めた！書けた！」という喜びと楽しさを味わってほしいと思います。



はた え み か
畑江美佳
Here We Go! 編集委員
淑徳大学教授

Sounds and Letters

アルファベットがもつ「音」に気づかせるコーナーを、5年 Unit 4以降の脚注に設けました。5年では全26文字の音に慣れ、6年ではp, bのように似た音を比べ、気づきを促します。



f



5

9



5 年 p.61 脚注の Sounds and Letters

「音」を口に出して慣れ親しんだ後、アルファベットを読んで書く活動を行います。

Fun with Alphabet

Unit 内で使った単語や文を、楽しみながら読み書きするコーナーです。語と語の間隔を空けることや、文頭の大文字、ピリオドなど英語を書くときのルールも学びます。

5年 Alphabet Timeの内容

Unit 4	文字の音に気づく (a~e)	単語を読む
Unit 5	文字の音に気づく (f~j)	単語を読む
Unit 6	文字の音に気づく (k~o)	単語を読む
Unit 7	文字の音に気づく (p~t)	単語を読む
Unit 8	文字の音に気づく (u~z)	単語を読む

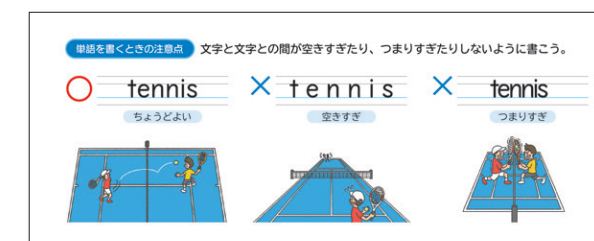
6年 Alphabet Timeの内容

Unit 1	文字の音に気づく (p, b)	単語を書き写す
Unit 2	文字の音に気づく (c, g)	単語を書き写す
Unit 3	文字の音に気づく (t, d)	語句を書き写す
Unit 4	文字の音に気づく (s, z)	文の一部を書き写す
Unit 5	文字の音に気づく (f, v)	文の一部を書き写す
Unit 6	文字の音に気づく (m, n)	文の一部を書き写す
Unit 7	文字の音に気づく (l, r)	文を書き写す
Unit 8	文字の音に気づく (ch, sh)	一文を書く

高学年の2年間をかけて、段階的にアルファベットや単語、文の読み書きが学べる、安心の設計です。

単語や文の書き方

単語や文を書くときのルールやつまづきやすいポイントを、イラストや例文を使ってわかりやすく解説するページを、両学年に設けました。



6年 p.99 単語や文の書き方

各学年3か所に「まとめ」の活動を設定

各学年3か所にある「まとめ」の言語活動は、「世界の友達」と「You can do it!」の2見開きで構成。「世界の友達」では主に「聞く」「読む」活動を、「You can do it!」では「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」活動を行い、各領域の到達度を確認できます。

「聞く」「読む」力を見取ることができる

世界の友達

ここまでのUnitで学んできた表現を聞いたり読んだりする、「受容する」活動を設定しています。次ページのYou can do it!が「やり取り」の活動である場合は、こちらも「やり取り」を設定し、児童が自分のパフォーマンスの参考とすることができます。

全12名の世界の小学生が、生活や夢を話します。異文化理解につながる情報が満載です。

まとめ

世界の友達 1

Hello. I'm Mathilde.
I like sports.

これはタラの料理。
ノルウェーは魚がおいしいんだ。

ノルウェーがどこにあるかわかるかな。

雪がふっても、友達と外で元気に遊ぶよ。

winter

family

家族でデンマークに遊びに行ったよ。

summer

夏休みは海や森でゆっくり過ごすよ。

Norway

人口 約542万人
首都 オスロ
主な言語 ノルウェー語

ノルウェーは、男女平等が進んだ国だといわれているよ。

Let's watch.

1 マチルデさんが好きなスポーツに○を付けよう。
A サッカー B 水泳 C クライミング

2 あなたなら、他にどんなことをききたいかな。

将太とリリーが世界の友達にインタビューしたよ。どんな話をしているかな。

ケープタウンにある、てっぺんが平らな山。テーブルマウンテンだよ。

Hi. I'm Tavonga.
I like animals.

mountains

料理をするのが大好きだよ。

cooking

penguins

ボルダーズというビーチには、ペンギンがいるんだよ。

sister

ぼくはケープタウンという町に住んでいるよ。

South Africa

人口 約5931万人
首都 プレトリア
主な言語 英語、アフリカンス語他

多様な民族が共にくらす南アフリカは、レインボーナーションともよばれるよ。

Let's watch.

1 タボンガさんが好きな教科2つに○を付けよう。
A 算数 B 理科 C 英語

2 あなたなら、他にどんなことをききたいかな。

5年 p.46-47 まとめ 世界の友達 1

「聞くこと」の思考・判断・表現につながる、広がりをもたせた設問を用意。

パフォーマンスの力を見取ることができる

You can do it!

「まとめ」ごとに5領域の活動をバランスよく設定しました。

ここまでのUnitで学んできた表現を中心に、「やり取り」や「発表」という「発信する」活動を設定しています。記録に残す評価を行う場面として活用できます。

活動のモデル動画

パフォーマンスのモデル動画を用意。活動に入る前に、活動のイメージを持つことができます。

まとめの活動で児童がよいパフォーマンスを発揮できるよう、大切なことを記しました。

まとめ
You can do it!
1

One-minute Talk で相手との共通点をさがそう。

おたがいのことをよく知るために、あなたとクラスの友達や先生との共通点をさがそう。

Let's think. 1

① グループで下の図を見ながら、おたがいのことを伝え合おう。

Let's think. 2

会話を続けるためには、あなたが聞いているということを示すことが大切だよ。どんな言葉で表せるかな。 Picture Dictionary p.24-25

相づちを打つ 「いいね。」と伝える 聞き返す

Good Performance

これまで学んだ表現も使ってみよう。

相手の話に反応したり、一言付け足したりしてみよう。

聞き取れないことがあったら、聞き返してみよう。

You can do it!

クラスの友達や先生と、One-minute Talk をしてみよう。共通点はいくつ見つかるかな。

What subjects do you like?

Well ... I like P.E. How about you?

いつも「たいせつ」を心がけて、会話をしよう!

ICTを活用しよう

自分が話す様子をさつえいしてあげば、見返すことができるよ。うまくいったところを見つければ、次の活動に生かそう。

ふりかえろう

① 世界の友達のインタビューから、どんな話をしているか聞き取ることができた。

② 相手と自分の共通点を見つけるために、その場でやり取りすることができた。

自分のことを伝えよう

自分のことについて、どんなことが言えるようになったかな。

5年 p.48-49 まとめ You can do it! 1



5年 p.78-79
Everyone Is Special の詩を作ろう。



6年 p.42-43
Me on the Map を作って日本の紹介をしよう。

多様性、共生の意識を育む活動も

金子みすゞの詩「わたしと小鳥とすずと」を発想のもとにして、Everyone Is Special の詩を発表したり、地球市民の一人であることを実感できる Me on the Map 作りに取り組んだりするなど、「共生」の意識を育てる豊かな言語活動を設定しています。